

舞台芸術講座

青島広志&萩尾望都の

# 少女マンガ 音楽史!

18:30  
開演

**追加公演決定!** 8/5(土) 発売開始

(萩尾望都さんは追加公演には出演しません。)



[構成・お話・ピアノ]  
青島広志



[お話]  
矢内裕子

[ソプラノ]  
横山美奈

[ヴァイオリン]  
小山啓久

[テノール]  
小野勉

[チェロ]  
阪田宏彰

[プログラム]

■ 萩尾望都の音楽作品

アシスト・ネコ (萩尾望都作詞・作曲)

アシスト・ワンコ (青島広志編詞・編曲)

■ 萩尾望都作品への音楽 / 青島広志作曲

「柳の木」(萩尾望都/小学館)

「少女ろまん」(萩尾望都/河出書房新社)

1.曇り日 2.風景 3.初夏

「月夜のバイオリン」

(萩尾望都/オロン出版) **新作初演**



萩尾先生、1969年以降、  
私の拙ない創作活動の指針は  
いつも先生でした。  
—— 青島広志

「ポーの一族」(萩尾望都/小学館)

2023 **9/23** (土・祝)

1 14:00開演 (13:15開場)  
2 18:30開演 (17:45開場)

神奈川県民ホール 小ホール

(みなとみらい線「日本大通り駅」徒歩8分・山下公園前)

全席指定 ■ 一般¥2,000 ■ 学生(24歳以下・枚数限定) ¥1,500

チケットかながわ 0570-015-415 (10:00~18:00)

<https://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> (24時間)

窓口：神奈川県民ホール/KAAT神奈川芸術劇場 (10:00-18:00) 神奈川県立音楽堂 (13:00-17:00/月曜日)



主催：神奈川県民ホール (指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団)

※やむを得ない事情により、演奏曲、出演者等が変更になる場合がございます。※就学前のお子様はご入場いただけません。※車イス・補助犬をお連れでご来場の方は、事前にチケットかながわまでお問合せ・ご予約ください。※演奏中にご入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

# 追加公演決定!

萩尾望都さんは追加公演 [18:30開演] には出演しません。

## 楽しいトークとイラスト、演奏で巡る、少女マンガの世界!

大変なご好評につき、昼公演に加え、夜公演の開催が決定しました!

楽しいトークと演奏、そして萩尾望都作品のイラストで、少女マンガのディープな魅力をご紹介。青島広志による萩尾望都作品「月夜のバイオリン」への書き下ろし新曲も必聴です!

### Message & Profile



萩尾先生、1969年以降、私の拙ない創作活動の指針はいつも先生でした。作曲に行き詰まったとき、対人関係で困ったとき、眠いとき、先生ご自身はどう対処しているのだろうか、登場人物はどう行動して

いるのかを考え、何とか切り抜けて来られたのです。

ピアノの上にはいつも先生のご著書が乗っていて、年とともに輝きを増しています。この度はお目にかかるかも知れない幸せに、一秒を何億光年にも感じながら、お話を拝聴いたします。

青島広志 (リカ)

#### 青島 広志 [お話し・ピアノ・オルガン・構成]

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ『黄金の国』(原作:遠藤周作)が同大学図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては『火の鳥』(原作:手塚治虫)、『黒蜥蜴』、『サド侯爵夫人』(原作:三島由紀夫)など、その作品は200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も49年を迎え、コンサートやイベントのプロデュースも数多く行っている。テレビ朝日「題名のない音楽会」アドバイザー、日本テレビ「世界一受けたい授業」などに出演。著書に「モーツァルトに会いたくて」「青島広志でございます!」(学研プラス)、「オペラ作曲家によるヘンなオペラ超入門」「作曲家の発想術」(講談社)などがある。東京藝術大学では40年以上にわたり講師を務め、現在は洗足学園音楽大学において客員教授を務める。日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。



青島先生、昨年(2022年)は、急病のため、青島先生のコンサートに参加できず、申し訳ありませんでした。ずっと、心残りでした。今回、参加できますことを、嬉しく思います。

いつものお元気の青島先生のトークを聞けることでしょう。おしゃれな青島先生のお姿を見ることができるとでしょう。

秋のいつか、音楽の世界に浸って夢に誘っていただけることでしょう。私の作品世界を、音によって広げてくださるのを、楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。

萩尾望都

※追加公演 [18:30開演] には出演しません。

#### 萩尾 望都 [お話し・漫画家]

福岡県大牟田市出身。1969年「ルルとミミ」でデビュー以来、SFやファンタジーなどを取り入れた壮大な作風で名作を生み出し続けている。1976年「ポーの一族」「11人いる!」で第21回小学館漫画賞、1997年「残酷な神が支配する」で第1回手塚治虫文化賞マンガ優秀賞、2006年「バルバラ異界」で第27回日本SF大賞、2011年日本漫画家協会賞・文部科学大臣賞、ほか受賞多数。2012年には少女マンガ家として初の紫綬褒章を受章。2017年朝日賞を受賞。2019年文化功労者に選出。さらに2022年旭日中綬章を受章。また2022年にはアメリカで最も権威ある漫画賞アイズナー賞でコミックの殿堂(The Comic Industry's Hall of Fame)入り。2016年の40年ぶりの「ポーの一族」新作発表以来、現在も月刊flowers誌にて「ポーの一族」を精力的に連載中。



#### 矢内 裕子

文筆業/編集。東京生まれ。明治学院大学フランス文学科卒。出版社で書籍編集に携わった後、独立。現在は日本の伝統文化、美術、工芸、文学を中心に、文藝春秋、AERA、週刊文春WOMANなどに寄稿している。著書に『落語家と楽しむ男着物』、共著に萩尾望都『私の少女マンガ講義』。現在、橋本治さんへのインタビューをまとめた『橋本治の小説作法』を準備中。企画した本に、いとうせいこう『ボタニカルライフ』(講談社エッセイ賞)、中島さおり『パリの女は産んでいる』(日本エッセイストクラブ賞)、角田光代『古本道場』、中島京子『ハブテトル ハブテトラン』、三浦しをん『あやつられ文楽鑑賞』ほか多数。

書籍紹介

#### 私の少女マンガ講義

日本の漫画は世界でも希有な文化である。中でも少女マンガは男性とは異なる視点で新たな物語を生み出してきた。その第一人者である萩尾望都が2009年、イタリアの講演で繙いた、「リボンの騎士」から『大奥』へ至る少女マンガ史、そして自作の解説と創作作法を収録。2019年にデビュー50周年を迎えてなお現役であり続ける著者が、日本独自の文化である少女マンガの「原点」と「未来」を語る一冊。 649円(税込) [萩尾望都・著 矢内裕子・聞き手・構成 / 新潮文庫]



神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1  
TEL.045-662-5901 (代表)  
FAX.045-641-3184  
<https://www.kanagawa-kenminhall.com>

- みなとみらい線=渋谷駅から東横線直通で35分 横浜駅から6分  
日本大通り駅から徒歩約8分 元町・中華街駅から徒歩約12分
- JR=関内駅または石川町駅から徒歩15分 ●市営地下鉄=関内駅から徒歩15分
- 市営バス=芸術劇場-NHK前下車徒歩2分  
横浜駅東口バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)  
桜木町駅前バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)
- 県民ホール有料駐車場(84台)もご利用下さい。